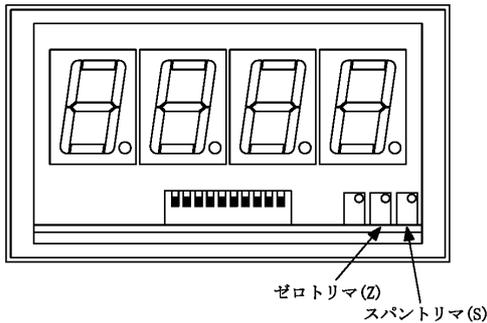


4. スケーリング

本器は、出荷時に校正済みですので、製品仕様通りに御使用になる限りでは、内部のトリマを操作する必要はありません。スケーリングの変更が必要になった場合には、下記の要領で合わせ込んで下さい。但し、この場合、本器の精度の10倍以上の精度を有する信号源及び測定器を使用し、電源投入後30分以上経過してから行って下さい。

1. 前面のベゼルを取り外し、表示フィルタを外します。



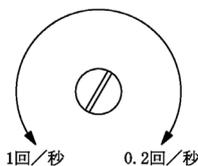
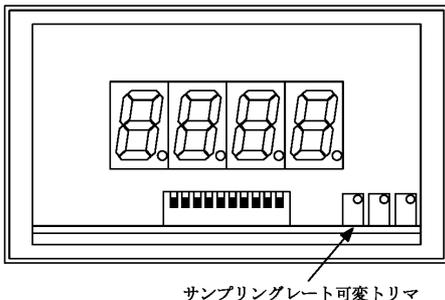
2. 製品のゼロスパン調整を行います。
入力信号のフルスケールが1V以上（0～5Vなど）及び0～20mA入力の場合と、入力信号のフルスケールが1V未満（0～200mVなど）及び入力信号が0以外から始まる場合（4～20mAなど）とでは、スケーリングの方法が一部異なりますので、下記の説明のうち該当する項の手順に沿って調整を行って下さい。

- 1) 入力信号のフルスケールが1V以上及び0～20mA入力の場合
(例：0～20mA入力に対して、表示を0～400にする場合)
 - ①製品に20mAを入力した状態で、表示が必要な値（本例の場合は400）になるように、製品前面のスパントリマ（S）を回して下さい。
 - ②表示フィルタを元通りにはめ込んでご使用下さい。
- 2) 入力信号のフルスケールが1V未満及び入力信号が0以外から始まる場合
(例：4～20mA入力に対し、表示を0～1200にする場合)
 - ①製品に4mAを入力した状態で、表示が0になるように製品前面のゼロトリマ（Z）を回して下さい。
 - ②製品に20mAを入力し、この状態で表示が必要な値（本例では1200）になるように製品前面のスパントリマ（S）を回して下さい。
 - ③再度製品に4mAを入力し、表示が0になっていることを確認して下さい。もしずれている場合は、上記①と②の操作を繰り返し、調整を行って下さい。
 - ④表示フィルタを元通りにはめ込んでご使用下さい。

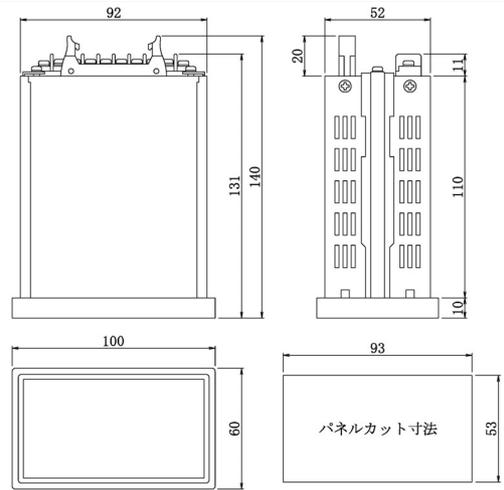
5. サンプリングレートの調整

サンプリングレート可変（オプション）仕様の製品では、製品前面のサンプリングレート可変トリマにより、表示の更新間隔を約1回/秒～約0.2回/秒の範囲で可変出来ます（製品出荷時は約1回/秒に設定されております）。

- 1) 前面のベゼルを取り外し、表示フィルタを外します。
- 2) 製品前面のサンプリングレート可変トリマを回し、表示の更新間隔を調整します。

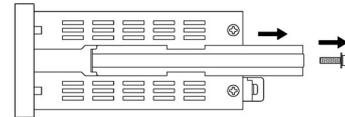


6. 外形寸法図とパネルカット寸法

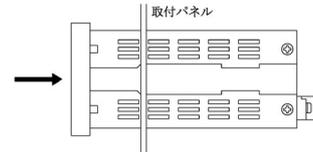


7. 取付方法

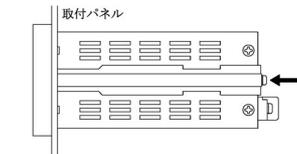
1. 取付金具の固定ビスを外し、取付金具を引き抜いて下さい。



2. 取付金具を外した状態で、本器を取り付けパネルの表面からパネルカットの穴に差し込んで下さい。



3. 製品の両側面の溝に取付金具を差し込んでから外した固定ビスをしっかりと締め込んで下さい。



8. 御注意事項

1. 設置について
 - 1) 本器は、-5～50℃、90%RH以下（非結露・非氷結）の条件を満たす場所に設置して下さい。
 - 2) 塵埃、金属粉等の多い所に設置する場合は、防塵設計の筐体に収納し、放熱対策を施して下さい。
 - 3) 振動、衝撃は故障原因となりますので、極力避けて下さい。
2. 配線について
 - 1) 電源ライン及び入力信号ラインは、ノイズ発生源、リレー駆動ライン、高周波ラインの近くに配線しないで下さい。
 - 2) ノイズが重畳しているラインと共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
3. 電源について
 - 1) 電源電圧が定格電圧範囲を超えて変動しますと、動作異常や故障の原因となりますので御注意下さい。
 - 2) 電源のON/OFFの際にスパイク状のノイズが発生するような電源の御使用は避けて下さい。
 - 3) 直流電源をご使用の場合は、極性に御注意下さい。配線を間違えますと、機器の破損に繋がる恐れがあります。
4. ウォームアップについて
本器は、電源投入と同時に動作致しますが、全ての性能を満足するには約30分間の通電が必要です。

9. 保証について

本品の品質保証期間は納入後1年間です。この期間内に通常のご使用条件下で故障が発生した場合は、弊社または御買い上げいただいた販売店までご連絡下さい。弊社に引き取って無償で修理を行うか、新品と交換させていただきます。なお、分解、改造及び通常でない状態での御使用に対する責任は御容赦いただきます。また、故障・修理をご希望の場合は、不具合の具体的な内容を御連絡下さいますようお願い申し上げます。